

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市わーくす大師	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人電機神奈川福祉センター ・代表者名 石原 康則 ・住所 横浜市磯子区新杉田町8番地の7	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	就労移行支援(定員30名) 平均登録者数 29.6名 就労継続支援B型(定員20名) 平均登録者数 23.8名																																							
収支実績	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">収入</th> <th colspan="2">支出</th> <th rowspan="2">収支差額</th> </tr> <tr> <td>福祉事業活動</td> <td>116,568千円</td> <td>福祉事業活動</td> <td>124,855千円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>98,737千円</td> <td>人件費</td> <td>81,720千円</td> <td rowspan="7">-9,735千円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自扶助</td> <td>3,392千円</td> <td>事務費</td> <td>8,122千円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料等</td> <td>0千円</td> <td>事業費</td> <td>18,876千円</td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>0千円</td> <td>拠点区分間繰入金</td> <td>16,137千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>14,439千円</td> <td>施設整備等</td> <td>1,448千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>116,568千円</td> <td>合計</td> <td>126,303千円</td> </tr> <tr> <td colspan="5">※端数処理のため合計が一致しないことがあります。</td> </tr> </table>	収入		支出		収支差額	福祉事業活動	116,568千円	福祉事業活動	124,855千円	給付費	98,737千円	人件費	81,720千円	-9,735千円	川崎市独自扶助	3,392千円	事務費	8,122千円	指定管理委託料等	0千円	事業費	18,876千円	拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	16,137千円	その他	14,439千円	施設整備等	1,448千円	合計	116,568千円	合計	126,303千円	※端数処理のため合計が一致しないことがあります。				
収入		支出		収支差額																																				
福祉事業活動	116,568千円	福祉事業活動	124,855千円																																					
給付費	98,737千円	人件費	81,720千円	-9,735千円																																				
川崎市独自扶助	3,392千円	事務費	8,122千円																																					
指定管理委託料等	0千円	事業費	18,876千円																																					
拠点区分間繰入金	0千円	拠点区分間繰入金	16,137千円																																					
その他	14,439千円	施設整備等	1,448千円																																					
合計	116,568千円	合計	126,303千円																																					
※端数処理のため合計が一致しないことがあります。																																								
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人の希望や実態に則した個別支援計画書を作成し、就職支援に関する高い技術と知識を有する施設として丁寧な支援を行った。平成29年度は就労移行支援事業では15名、就労継続支援事業B型では2名が就労。平均工賃は現在受注している作業単価の見直しと大口作業の受注があったことにより、今年度も3月には一時金も支給ができ、26年度より3年連続の増加となり、3年間で約5000円増加した。 ・定着支援の取り組みとして、就労先からの相談内容の課題を4段階のピラミッドに分類し、就労者が安定して長く職場定着をしていくための分析を行い、支援に活用している。現在、82名の定着支援登録者がいる中で、就労者の精神的な支援のための「同窓会」を年2回開催、29年度は日常生活の管理をテーマにした「ほっとスポットKAWASAKI」を年5回実施し、就労者が気軽に話が出来る憩いの場を設ける取組を行った。 																																							

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・利用者、家族から家庭での様子などの情報を得て、今後の生活についての希望を反映した個別支援計画書を就労移行支援は3か月ごと、就労継続支援事業B型は6か月ごとに作成し、関係機関と調整して利用者の個別状況に応じた支援を行った。 ・就労移行支援事業においては、企業や家庭への連絡調整をはじめ、相談支援センターや川崎市発達相談支援センターなどの関係機関との連携も図り、生活面や精神面でのフォローも行い、早期離職を防いだ。また、家族向けに実際のケースなどの傾向をまとめたテキストを作成して新規利用契約時に配布して活用した。 ・就労継続支援事業B型においては、独自の治具の作成などにより、細かい作業が行えるようにし、品質が保たれた仕上がりにより、新規の作業や取引先の確保に繋がった。また、外部講師を招いた健康講座「おなか元気教室」や29年度から実施した、筋力トレーニングの運動プログラムを行い、生活に大切な健康を得られる支援を行った。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出については、職員給与費が当初の見込みを下回っており、予算全体では見込を下回った。 ・収入については、利用者に長期欠席者がいたことから給付費の収入見込額が当初の見込みを下回り、収支はマイナスだった。 ・法人本部と連携し、公認会計士からの指導を受け、適切な会計処理を行っている。					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・実際の職場での体験を通じ、仕事への自信を獲得するために施設外実習にも積極的に取組、就労実績に繋げている。また、職場でのコミュニケーションの向上を図るために昨年度より行った、グループワークを今年度も実施した他、体力に自信がない利用者に対して、体力の向上のための運動プログラムを行うなど個別支援を実施した。 ・目安箱の設置や面談室を設け、利用者からの申し出を職員間で共有している。利用者アンケート結果では、以前は「仕事に関する悩みを持っている」利用者が多かったが、今年度は「人間関係に関する悩みを持っている」利用者が多く、スマホやSNSによるトラブルなど近代的な課題にも対応した支援を提供している。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・人員配置や連絡体制に問題はなく、28年度の第三者評価の結果を受けて行った職員の人権に配慮した研修や接遇研修など、多くの職員研修も実施しており、良好な施設運営が行われている。 ・就労援助センターやハローワークなどと連携して、利用者の個々の特性に合った職場開拓を行った。神奈川県労働局主催の障害者雇用見学会に講師を派遣しての講演、初めて障害者を雇用する企業に対する講義など、外部講演も多く行っており、地域における障害者雇用に貢献している。 ・毎日実施している職員ミーティングにおいてヒヤリハットの情報共有をはかり、川崎地区で毎月実施している安全衛生会で安全確認事項の確認を徹底し、理事長による定期見回り巡回を行った。29年度よりは、わーくす大師内にて安全衛生推進会を設け企業を退職した非常勤職員を加え、知識と経験を取り入れ、内容の濃い取組を行い、事故防止に努めた。 ・年3回の防災訓練を行い、川崎区内の事業所である地域性を考慮した、津波・水害を想定した避難経路を確認するなど利用者の安全・安心への取組を行った。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・館内清掃については、定期清掃は業者委託により適正に行われている。日々の日常清掃業務は利用者の作業の一環として、作業室・廊下・トイレ・庭木の手入れなどが実施されており、利用者の工賃となり、美観の維持と利用者の清潔感に関する意識の向上が図られている。 ・施設・設備の保守管理を行い、利用者が安心して施設を使える取り組みを行った。 					

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準: C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・利用者一人一人の職種・職場環境に合った個別支援計画に合わせた細やかなサポート、課題解決を行い、安定した就労の継続支援、再就職に向けた支援と定着支援の充実に努めている。また、利用者の生活全般の支援を行い、生活を安定させ社会的自立への支援を行っている。
- ・就労援助センターやハローワークなどと連携し、利用者の個々の特性に合わせた職場開拓を行い障害者の雇用創出につなげ、地域の障害者福祉に貢献している。
- ・企業の雇用担当者の相談を受けたり、アドバイスを的確に行っているとともに、初めて障害者を雇用する企業に対する講義など、多くの外部講師を派遣して就労後の定着支援を確実にしている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

--